



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 日建工学株式会社

コード番号 9767 URL <http://www.nikken-kogaku.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 行本 卓生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 皆川 曜児

TEL 03-3344-6811

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,508	53.0	△171	—	△167	—	△172	—
24年3月期第2四半期	1,638	△20.6	△482	—	△478	—	△483	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △189百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △513百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△9.45	—
24年3月期第2四半期	△26.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,775	1,420	37.6
24年3月期	3,871	1,609	41.6

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 1,420百万円 24年3月期 1,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	49.2	150	—	150	—	140	—	7.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より、減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	18,622,544 株	24年3月期	18,622,544 株
25年3月期2Q	344,912 株	24年3月期	343,790 株
25年3月期2Q	18,278,345 株	24年3月期2Q	18,280,915 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 経営に重要な影響を及ぼす事象	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の我が国経済は、東日本大震災後の景気低迷から緩やかに回復してまいりましたが、依然として、欧州債務危機問題や長期化する円高などにより企業業績の下振れが懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが関連いたします土木建設市場におきましては、東日本大震災の復旧・復興のための政府建設投資は増加し、緩やかな回復傾向に有りますものの、未だ厳しい経営環境下にありました。

このような情勢のもと、当社グループは、当社技術工法、事業製品、関連資材を積極的に提案営業することにより、第2四半期後半より東日本大震災の復興事業による当社業績への寄与が始まり、前年度からの繰越しを含む公共工事の増加要因と合わせて、当該期間における売上高は増加いたしました。固定費につきましては、販売費及び一般管理費および鋼製型枠の減価償却費は減少し、営業損失は縮小に向かい、業績は改善傾向となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、2,508百万円（前年同期比53.0%増）となり、営業損失は171百万円（同310百万円の改善）、経常損失は167百万円（同310百万円の改善）、四半期純損失は172百万円（同311百万円の改善）となりました。

セグメント別に見ると、型枠貸与事業の売上高は513百万円（前年同期比88.1%増）、営業損失は194百万円（同142百万円の改善）、資材・製品販売事業の売上高は1,994百万円（前年同期比46.0%増）、営業利益は22百万円（前年同期は145百万円の営業損失）であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産3,775百万円となり、前連結会計年度末比96百万円の減少となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加77百万円および第3四半期以降出荷予定の商品及び製品の増加108百万円、売掛債権の回収等による受取手形及び売掛金の減少210百万円および減価償却による有形固定資産の減少59百万円などによるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,354百万円となり、前連結会計年度末比92百万円の増加となりました。

その主な要因は、商品及び製品の購入等による支払手形及び買掛金の増加116百万円およびリース債務の減少47百万円などによるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,420百万円となり、前連結会計年度末比189百万円の減少となりました。

その主な要因は、四半期純損失による利益剰余金の減少172百万円およびその他有価証券評価差額金の減少16百万円などによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下資金という。)は、前連結会計年度末に比べ、77百万円増加し、633百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は173百万円(前年同四半期は92百万円の支出)でした。主に売上債権の減少226百万円、仕入債務の増加87百万円、減価償却費156百万円による収入と税金等調整前四半期純損失167百万円、たな卸資産の増加108百万円による支出などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は35百万円(前年同四半期は160百万円の収入)でした。主に鋼製型枠等有形固定資産の取得による支出33百万円などによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は60百万円(前年同四半期は179百万円の支出)でした。主にリース債務の返済による支出59百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、東日本大震災の復興を含む関連公共工事の進捗の遅れにより、売上高は予想値に達しましたが、営業利益、経常利益、当期純利益ともに予想を下回りました。

詳細につきましては、本日開示しております「平成25年3月期第2四半期（累計）業績予想との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

通期業績につきましては、第3四半期以降に利益率が上昇してくるものと予想しております。現時点においては平成24年5月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ3,898千円減少しております。

3. 経営に重要な影響を及ぼす事象

当第2四半期連結累計期間においては172百万円の四半期純損失を計上いたしました。このような状況を解消・改善するため、当社業績への寄与が見込まれる東日本大震災の復興事業へ全力で取り組むと共に、事業量が増大することが予想される東海・東南海・南海地震に対する国の防災対策事業等におきましても、積極的に提案営業し、早期の業績の向上を図ってまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	555,522	633,219
受取手形及び売掛金	2,195,060	1,984,893
商品及び製品	138,470	247,035
原材料及び貯蔵品	13,255	13,274
その他	89,100	96,123
貸倒引当金	△59,811	△59,280
流動資産合計	2,931,598	2,915,265
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	304,087	259,280
その他（純額）	204,850	189,872
有形固定資産合計	508,937	449,152
無形固定資産	20,621	15,652
投資その他の資産		
投資有価証券	154,605	137,781
その他	407,530	408,780
貸倒引当金	△151,522	△151,514
投資その他の資産合計	410,612	395,047
固定資産合計	940,172	859,852
資産合計	3,871,770	3,775,118
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,642,462	1,759,456
リース債務	116,997	125,826
未払金	106,577	81,291
未払法人税等	11,169	7,741
その他	79,840	135,720
流動負債合計	1,957,047	2,110,036
固定負債		
リース債務	203,294	147,068
退職給付引当金	79,348	76,394
役員退職慰労引当金	3,725	—
その他	18,528	21,436
固定負債合計	304,896	244,900
負債合計	2,261,943	2,354,936

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,691	541,691
利益剰余金	128,603	△44,130
自己株式	△58,986	△59,074
株主資本合計	1,615,735	1,442,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,908	△22,732
その他の包括利益累計額合計	△5,908	△22,732
純資産合計	1,609,826	1,420,181
負債純資産合計	3,871,770	3,775,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,638,996	2,508,163
売上原価	1,512,892	2,104,298
売上総利益	126,103	403,865
販売費及び一般管理費	608,115	575,166
営業損失(△)	△482,011	△171,300
営業外収益		
受取利息	404	402
受取配当金	5,850	2,582
たな卸資産処分益	2,746	3,207
貸倒引当金戻入額	—	539
その他	1,177	943
営業外収益合計	10,179	7,675
営業外費用		
支払利息	6,199	3,712
為替差損	—	13
営業外費用合計	6,199	3,725
経常損失(△)	△478,031	△167,350
特別損失		
固定資産処分損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△478,036	△167,350
法人税等	5,773	5,382
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△483,810	△172,733
四半期純損失(△)	△483,810	△172,733

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△483,810	△172,733
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△29,469	△16,824
その他の包括利益合計	△29,469	△16,824
四半期包括利益	△513,280	△189,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△513,280	△189,557
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△478,036	△167,350
減価償却費	184,251	156,317
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,986	△539
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△30,159	△816
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△685	△2,953
受取利息及び受取配当金	△6,255	△2,984
支払利息	6,199	3,712
固定資産処分損益(△は益)	4	—
売上債権の増減額(△は増加)	566,806	226,076
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127,345	△108,301
仕入債務の増減額(△は減少)	△199,883	87,776
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,427	△3,438
その他	7,694	△5,139
小計	△84,850	182,358
利息及び配当金の受取額	6,075	2,614
利息の支払額	△6,199	△3,712
法人税等の支払額	△7,989	△8,134
営業活動によるキャッシュ・フロー	△92,963	173,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	195,000	—
有形固定資産の取得による支出	△23,433	△33,947
差入保証金の差入による支出	△10,898	—
その他	△608	△1,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	160,059	△35,142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△110	△87
配当金の支払額	△163	△672
リース債務の返済による支出	△179,462	△59,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,736	△60,286
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△112,640	77,696
現金及び現金同等物の期首残高	601,665	555,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	489,025	633,219

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)
	型枠貸与事業 (千円)	資材・製品販売 事業(千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	273,054	1,365,941	1,638,996
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	273,054	1,365,941	1,638,996
セグメント損失(△)	△336,255	△145,756	△482,011

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

損失(△)	金額(千円)
報告セグメント計	△482,011
セグメント間取引消去	-
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△482,011

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)
	型枠貸与事業 (千円)	資材・製品販売 事業(千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	513,522	1,994,641	2,508,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	513,522	1,994,641	2,508,163
セグメント利益又は損失(△)	△194,021	22,721	△171,300

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容（差異調整に関する事項）

損失(△)	金額（千円）
報告セグメント計	△171,300
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△171,300

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当社グループは、自社工場を持たず製作・製造委託会社に商品を製造委託しており、生産実績の記載ができませんので、これに代え仕入実績を記載しております。

セグメントの名称	内容	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 (%)
資材・製品販売事業 (千円)	消波根固ブロック製品、消波根固自然石製品、生態系保全および景観修景に関わる河川・道路・公園等のコンクリート二次製品、土砂吸出防止・洗掘防止・遮水等の土木用シートマットの製品等の販売	1,821,764	141.3

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 型枠貸与事業には、仕入実績がないため記載しておりません。

(2) 受注状況

当社グループは、受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	内容	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 (%)
型枠貸与事業 (千円)	主に消波根固ブロックの製造用鋼製型枠の貸与	513,522	188.1
資材・製品販売事業 (千円)	消波根固ブロック製品、消波根固自然石製品、生態系保全および景観修景に関わる河川・道路・公園等のコンクリート二次製品、土砂吸出防止・洗掘防止・遮水等の土木用シートマットの製品等の販売	1,994,641	146.0
計 (千円)		2,508,163	153.0

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。